

谷瀬の吊り橋（看板）

谷瀬の吊り橋は、日本一長い鋼鉄製の吊り橋で、地元住民の生活用橋として利用されています。

長さ 297 メートル、高さ 54 メートルのこの橋は、今あなたがいるここ上野地と対岸の谷瀬という集落を結んで十津川に架かっています。長年、向こう側の山に住む村人たちは、地上に架けられた丸太の橋で川を渡っていました。こうした橋は役に立ってはいたものの、この地域は国内でも有数の豪雨地帯で、特に台風の時期には流されることもよくありました。この吊り橋は住民が出し合ったお金を役所の予算に加えて調達した資金で 1954 年に建設されました。1972 年には強風や地震に耐えられるよう補強され、今ではこの地域で最も人気のあるランドマークのひとつとなっています。

橋の反対側にある谷瀬は、この地域の典型的な集落です。住民たちが制作した集落の見どころを案内する「ゆっくり散歩道」というマップには、こじんまりとしたカフェや民宿、風情ある神社、この橋のパノラマの景色が望める展望台などが紹介されています。地元の人によると、この展望台は橋が架けられる前に、谷瀬集落の人たちが川のこちら側にいる友人や家族と手信号で連絡を取り合っていた場所に作られたそうです。

- 吊り橋は自己責任で渡ってください。
- 走ったり、わざと橋を揺らしたりしないでください。
- 混雑時は警備員の指示に従ってください。